

薬物依存症専門外来の初診予約について

※薬物依存症専門外来の初診予約はEメールにて受け付けております。

薬物依存症専門外来について

薬物依存症とは

薬物依存症とは、自分の意志では薬物の使用の頻度や量をコントロールできなくなってしまう医学的な障害です。健康的な生活、仕事上の信用や、大切な人との関係性は、人生において大切に、これらを失うことは非常に辛いものです。薬物によって、このような大切なもの失う辛さを味わっても、ふとしたきっかけで薬物を使ってしまいます。規制薬物と縁を切りさえすれば、逮捕される恐怖から解放されるのに、縁を切れない。それが薬物依存症です。

様々な形で、大切なものを失い、罰や叱責を受けているのに規制薬物をやめられない理由は、性格のせいではなく、規制薬物によって脳の機能が変化をさせられてしまった状態です。当院では、その様な規制薬物の依存に対する専門治療を行っています。

薬物依存症専門外来の特色と治療の内容

薬物使用に伴い生じる幻覚や妄想といった中毒性精神病の治療を行う病院は多いものの、より根本的な問題である薬物依存症に対する治療をしている病院はまだ少ないのが現状です。

北里大学病院では、薬物依存症そのものに対する外来治療プログラムを提供いたします。具体的な内容は以下の通りです。

- ・薬物依存症に対する集団精神療法：患者さん数名～十数名程度のグループを対象として、**集団認知行動療法**による治療を行います。専門の治療は依存に対するもので、幻覚や妄想に対してのものではありません。
- ・上記の集団認知行動療法の補足として、精神科医による診察と臨床心理士による心理面接を行います。薬物療法は原則的に行わず、入院治療は行いません。

【注意】

※薬物依存症外来で実施される治療プログラムには、入院治療は含まれておりません。

あくまでも外来だけの治療プログラムです。

※薬物依存症外来における治療の中心は**集団認知行動療法**です。

したがって、集団認知行動療法を希望されない方は、当外来の治療対象とはなりません。また、薬物問題の他に、別の**精神障害をお持ちであり、そのせいで精神状態が非常に不安定な方は**、当外来の治療対象とはなりません。

※当専門外来は、「薬物依存症」の治療のみを行いますので、別の精神疾患の治療を行うことはいたしません。

※薬物依存症専門外来は今後の薬物依存症治療の発展の為、個人情報等に配慮し、データの匿名化を図り研究に活用させていただく場合があります。また、大学病院という性格上、医学生、研修医などの教育資料として活用させていただく事や、医学生、研修医が陪席する事があります。

薬物依存症専門外来の対象患者さん

薬物依存症外来がお役に立てる患者さんは以下のような病状の方で、しかも、グループによる治療法（集団認知行動療法）への参加を希望される方です。

- ・覚せい剤などの規制薬物を「やめたい」と考えている方、あるいは、自分自身ではまだ迷いがあるが、周囲からは「やめた方がよい」といわれている方
- ・薬物の後遺症による幻覚（幻聴・幻視）や妄想、気分の変動や興奮性といった症状が、日常生活に支障があるほど重篤ではなく、予約外の緊急対応や入院治療を必要としない方（私たちが提供できるのはあくまでも週1回の外来治療です。したがって、週1回の外来治療では薬物をやめていくことが困難と考えられる病状の患者さん、あるいは、中毒性精神病が重い患者さんの場合には、ご要望に応えることができません）。
- ・なお、当院一般精神科外来、もしくは、他の精神科医療機関に通院中で、すでに精神症状に対する薬物療法などの治療を受けている患者さんが、「薬物依存症」だけの治療を目的として、当専門外来を利用することも可能です。

（ただし、その場合には当院における通院治療は、自立支援医療による通院費補助の対象とはならない場合があることをご了承ください）

受診申し込み方法と治療のながれ

1. 受診申し込み方法

薬物依存・ギャンブル障害専門外来への受診を希望される方は、下記のメールアドレスにEメールでご連絡をください。

連絡先メールアドレス：kipp@kitasato-u.ac.jp（クリックするとメーラーが立ち上がります）

【注意】

携帯電話のメールフィルター設定が必要な場合があります！

携帯電話では、迷惑メール防止のため、受け取れるメールに制限がかかっている場合があります。

薬物依存・ギャンブル障害専門外来への受診希望のメールをする前に、「携帯メールフィルターの解除」を行い、当院からのメールを受け取れるようお願い申し上げます。

2. 質問メールの返信

上記メールアドレスに、メールを送ると、2～3日以内に、質問が記載されたメールが返信されます。質問内容は、患者さんのプロフィールに関するものですが、メールで回答していただいた情報に関しては、診療以外の目的で使用することはいっさいありません。

診療上の守秘義務は守られますので、安心して正直にお教えてください。

3. 受診日決定のご連絡

質問事項にお答えいただいたメールを受け取ってから、当専門外来での治療が役に立つ病状であるかどうかを判断させていただいたうえで、1週間程度（休日・祝日が続く場合にはもう少しお時間をいただく場合があります）で、Eメールにて返信させていただきます。

原則として、その返信のなかで受診予約日についてお知らせさせていただきますが、場合によっては、患者さんの病状についてもう少し詳しくお教えいただくために、追加の質問をさせていただくこともあることを、ご了承ください。

※また、一度決定した初診日に来院できなくなった場合には、その旨を予約申し込みしたメールアドレス（kipp@kitasato-u.ac.jp）にEメールを送り、キャンセルをお願いいたします。

なお、現在、他の精神科医療機関通院中の方の場合には、必ず主治医の先生からの紹介状（診療情報提供書）を持参して受診するようお願いいたします。

4. 治療の流れ

まず初診において専門的な病状評価を行い、次回から本格的な治療が行われます。なお、当院では、初診担当医と再診担当医が異なることがあります。再診日の詳細については、初診時にご説明致しますのでご了承ください。

初診（水曜の午前中）

最初の重症度評価を行い、当外来での治療が適切かどうかを判断いたします。

集団療法（毎週水曜 15:00~16:30）

原則として、初診日の週から、毎週の参加をお願いしています。

再診（月曜日の午前中）

集団療法と並行して、医師による診療を行います。

受診頻度に関しては、症状や生活状況、予約状況に応じて医師が判断いたします。

心理面接（不定期）

治療の補助として、臨床心理士による心理面接を行うことがあります。

ご利用される方の希望通りに心理面接が設定できない場合もございますので、ご了承ください。